
Narinki News

NARA AMI

No. 312**MAY.2020**

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕 〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕 勝山 政彦 〔編集責任者〕 岸森 千幸

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

日臨技近畿支部血液研修会に参加して

天理よろづ相談所病院 河野 紋

今回、令和元年 12 月 15 日に奈良県文化会館にて行われた日臨技近畿支部 血液研修会に参加させていただきました。

「一つ一つの細胞をみんなで考えよう」～正常細胞から異常細胞まで～というテーマの元、第一線で活躍されておられる著明な先生方のご講演や、事前に配布・解答した症例の解説を通して、血液検査学の特に細胞について深く学びました。

私は普段、ルーチン業務では血液細胞の分類業務に携わっていないことから、参加前、研修会の内容を吸収することができるか不安でした。講演では、症例と血液細胞を結びつけての見方と考え方や、フローサイトおよび遺伝子検査の基本的な知識・技術内容から最新のトピックスなどを、詳しく丁寧に教えていただくことができました。実際に経験した失敗例なども織り交ぜてお話いただけたことで、正しい見方・考え方のアプローチを具体的に学ぶことができました。さらに、ランチョンセミナーでは形態学を学ぶ者として、血球とどう向き合っていくべきかという講演をしていただきました。これから向き合っていく立場である私にとって、今後の仕事に対してのやる気につながる講演となりました。

症例解説では、事前に解答していた 6 症例について解説していただきました。疾患の特徴や形態学的特徴を詳しく解説していただき、事前に解答する時点での疑問点が解消され、細胞の見方についても学ぶことができました。普段細胞をみていないため、6 症例でもボリュームが大きく感じましたが、その分、学ぶことも多く、とても勉強になりました。

今回研修会に参加して、頭がパンパンになりながらも、細胞の見方から実際の症例までたくさん勉強することができ、とても良い経験となりました。一方、自らの知識不足も強く痛感したため、今後も様々な勉強会や研修会に参加し、成長していきたいと思えます。

《精度管理調査と精確性の長期維持調査の実施要項》

昨年に引き続き「精度管理調査（全分野）」と「精確性の長期維持調査（臨床化学と血液のみ）」の申し込みを同時に行います。「精確性長期維持調査」は年5回行う予定です。精度管理調査同様、積極的にご参加頂きますようお願い致します。なお、本年度も日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム（JAMTQC）を使用してWebによる申し込み、回答、報告を実施します。

また、賛助会員につきましては「精度管理調査」のみの参加となります。

〈参加コースと項目〉 太文字は精確性の長期維持調査の項目
下線は評価項目

臨床化学 1	LD,ALT,AST,ALP,AMY,ChE,Ca,IP,UN,CRE,T-BIL,D-BIL,Fe,Na,K,Cl Glu,T-CHO,HDL-CHO,LDL-CHO,TG,TP,Alb,<u>γ-GT,CK,UA,CRP,</u> 免疫グロブリン
臨床化学 2	<u>HbA1c</u>
免疫血清 1	梅毒 TP 抗体, HBs 抗原, HCV 抗体
免疫血清 2	CEA, PSA
血液	WBC,RBC,Hb,HT,PLT,MCV ,好中球数(%),リンパ球数(%) フォトサーベイ(Web表示)
凝固	PT(秒,%),INR), APTT, フィブリノーゲン
微生物	グラム染色, <u>フォトサーベイ(Web表示)</u> , 細菌同定, 薬剤感受性試験
一般	尿定性, 尿蛋白定量, 尿糖定量, <u>フォトサーベイ(Web表示)</u>
輸血	ABO血液型, Rh血液型, 不規則抗体, 抗体力価
細胞診	フォトサーベイ (Web表示)
病理 1	染色サーベイ
生理	<u>神経機能,機能分野,画像分野,各フォトサーベイ(Web表示)</u>

※2020年度から「微生物1」と「微生物2」を統合致しました。「グラム染色」・「フォトサーベイ」は必須、「細菌同定」・「薬剤感受性試験」は任意とさせて頂いておりますので、サーベイ当日はご施設の現状に合った項目を選択し回答して下さい。

〈申込方法〉

日臨技 HP（日臨技精度管理調査）から申し込みください。日臨技精度管理調査ボタンをクリックし施設番号とパスワードを入力してログインし、「事務メニュー」→「令和2年度奈臨技精度管理事業」を選択してお申し込みください。

精確性の長期維持調査も申し込む場合は5回行いますので「9月～5月精確性の長期維持調査（奈良県令和2年度）の5つの事業（精度管理事業と合わせて6つ）についても各施設で申し込んでください。お手数ですがよろしくお願い致します。

なお、事務メニューに入りましたら「入力ガイド」を掲載しています。

〈申込締め切り〉4月23日（木）～5月22日（金）＊申込は期限厳守でお願いいたします

〈参加費〉 精度管理調査は2000円、精確性の長期維持調査（5回分）も2000円。

両方参加の場合は4000円。なお、参加コースの数で参加費用は変わりません。

〈請求書〉申し込み締切日以後、日臨技 HP からダウンロードできます。

〈振込先〉南都銀行天理支店（店番 180）
 普通預金 口座番号 0747462
 加入者名：一般社団法人 奈良県臨床検査技師会
 * 振込み名はカタカナ先頭 10 文字で施設名が判る名前として下さい
 （振り込み用紙は各施設で準備し 6/30 までにお振り込みください）。

〈日程〉

	精度管理事業	精確性の長期維持調査
試料及び手引書送付日	7月1日（水）	9,11,1,3,5月の第1月曜～火曜日（試料があれば5月実施）
報告締切日	7月10日（金）	毎回15日
実施方法	手引書参照	1日2回測定
検討会	各分野別に行います。詳細は後日の奈良臨技ニュースで連絡致します。	後日の奈良臨技ニュースで連絡致します。

極端値の場合は担当委員から問い合わせる場合があります。また試料を再送付する場合があります。長期精度管理の集計は翌月に日臨技 HP で参照可能です。自施設の位置を確認してください。

〈精度管理事業報告書〉

参加施設には報告書を送付致します。また Web からダウンロードできます。報告書には参加施設名を記載しますが、結果には施設名は記載しません。

〈精度管理事業評価〉

標準化事業の対象項目（臨床化学、血液、微生物、一般、輸血、生理の一部）について評価を行います。精確性の長期精度管理の評価は行いません。

〈問い合わせ先〉

1. 2020 年度奈良臨技精度管理事業

〒633-0054 奈良県桜井市大字阿部 323

済生会中和病院 中央検査室

精度管理推進事業理事 猪田 猛久

TEL : 0744-43-5001 E-mail : ida@chuwa-hp.jp

〒630-8581 奈良県奈良市七条西町 2 丁目 897-5

奈良県総合医療センター 臨床検査部

精度管理推進事業委員長 中島 久晴

TEL : 0742-46-6001 E-mail : emyr89cehbw5sk@yahoo.co.jp

3. 精確性の長期維持調査

〒633-0054 奈良県桜井市大字阿部 323

済生会中和病院 中央検査室

奈良臨技臨床検査データ標準化委員会 猪田 猛久

TEL : 0744-43-5001 E-mail : ida@chuwa-hp.jp

会員・施設状況 (2020年4月1日現在)

[正会員数]	632名		
[新入会]	0名	[再入会]	0名
[変更]	13名	[退会]	6名

＜奈臨技よりお知らせ＞

第1回通常理事会にて、新型コロナウイルスの影響により、6月末日までは奈良県技師会主催の研修会、学会等を延期または中止させて頂くことが決定されました。

ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。また、今後の予定も変更になることがありますので、奈臨技ホームページ、メール等で確認お願い致します。

2020 年度奈臨技定時総会のご案内

日 時 : 2020 年 5 月 31 日 (日) 10 : 00～

会 場 : 奈良県立医科大学 大講堂

一般社団法人の定款により定時総会は年 1 回の開催となっています。

新型コロナウイルスの影響により、今後の予定も変更になることがありますので、奈臨技ホームページ、メール等で確認お願い致します。

第 37 回 奈良県医学検査学会中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、本年度の奈良県医学検査学会の開催を中止します。演者の先生、関係者の皆様、会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、現状を踏まえ、判断いたしました。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

また今年度の一般演題、講演、その他内容の次年度への持越し等に関しましては、改めて協議し、広報致します。

各自健康に留意して行動をお願いします。

第 37 回奈良県医学検査学会会長
奈良県臨床検査技師会 会長 勝山 政彦

編集後記

新型コロナウイルスで世間は大変な事になっています。皆さんの職場も忙しく対応に追われている事と思います。皆さん力を合わせて乗り切りましょう。くれぐれもお身体を大事にしてお仕事にあたって下さい。

奈臨技の活動も中止となっています。みなさまにお知らせする内容も少なくなっています。奈臨技ニュース 6 月号の発行が遅れる可能性がありますことをご了承下さい。よろしくお願い致します。

広報委員 M